

子どもの気持ちを受け止めよう！

5 エピソード

保育園から絵本を借りてきたよ！ (山川家の夕方の会話です)

さくら 「お母さん、今日、保育園から『ぐりとぐら』の絵本を借りてきたよ」
 お母さん 「ふーん(洗濯物をたたみながら)」
 さくら 「明子先生が保育園で読んでくれたんだよ」
 お母さん 「そう、よかったね」
 さくら 「お家でも読みたい人は借りていってもいいよって言ったんだよ」
 お母さん 「借りてこられて、よかったね」
 さくら 「お母さんも読んで」
 お母さん 「お父さんが帰ってきたら読んでもらって。
 お母さんは、夜、寝るときにね」

(さくらは、絵本のページを楽しそうにめくっています。
 そこへお父さんが珍しく早く帰ってきました。)

お父さん 「ただいま～」
 さくら 「あっ、お父さんだ。おかえり～。お父さん、これ、読んで」
 お父さん 「えっ、『ぐりとぐら』？ お母さんは？」
 お母さん 「ふーん。(洗濯物をたたみながら)」



グループワーク

- 4～5人のグループに分かれ、このエピソードを役割分担して読み上げましょう。
- あなたにもエピソードと同じような経験はないでしょうか。そのときの状況や感じたことをありのままに書いてみましょう。

- それぞれの立場になったとしたら、どんなふうに思いますか。ワークシートに書き込んでみましょう。



お母さん



お父さん



さくら (5歳)

- それぞれの立場になって感じたことをグループで話し合ってみましょう。

メモ

- あなたの家庭では子どもに本を読んであげたり、子どもといっしょに本を読んだりすることはされていますか。子どもの気持ちを受け止めていくにはどうしたらよいと思うか、グループで話し合ってみましょう。

メモ